

令和2年度地方公共団体による食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業

- 環境省では、食品ロスの削減及び食品リサイクルに先進的に取り組む市区町村を支援するため、食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業を実施する市区町村等の公募した。
- 公募を行った結果、食品ロスの削減を促進するものとしての事業の有効性、事業としての発展性・波及性、事業の具体性・実現可能性・継続性の観点から、一般部門(部門Ⅰ)として、秋田県秋田市、東京都三鷹市、長野県松本市の3市の事業を支援した。
- モデル事業の成果として、秋田市、三鷹市、松本市の事業概要を整理する。

各モデル事業の概要

募集部門	実施自治体	事業の名称および概要
食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業 一般部門(部門Ⅰ)	秋田県秋田市	<ul style="list-style-type: none">■【家庭系】秋田市家庭系食品ロス削減モニター事業<ul style="list-style-type: none">● 家庭向けの啓発資材(パンフレット、動画)を作成・配布するとともに、食品ロスダイアリー調査を実施して啓発資材および食品ロスダイアリー調査の実施による啓発効果を検証■【事業系】食品関連事業者の食品ロス削減のためのガイドライン作成事業<ul style="list-style-type: none">● 市内事業者へのヒアリング結果等を踏まえ、食品ロス削減の取組の意義や先進事例等を取りまとめたガイドラインを作成・配布。配布後に事業者アンケートで効果を検証
	東京都三鷹市	<ul style="list-style-type: none">■ 市民が家庭で効率的に食品ロスを把握・削減するための方策・支援ツールの調査<ul style="list-style-type: none">● 家庭系食品ロスの発生実態や、食品ロスを把握・削減するための支援ツール(アプリ等)に対するニーズを把握する調査を行い、市民が効率的に食品ロスを削減するための方策を検討
	長野県松本市	<ul style="list-style-type: none">■ 松本市におけるフードシェアリングサービス導入の効果検証<ul style="list-style-type: none">● フードシェアリングサービス事業者(株式会社クラダシ)と連携し、フードシェアリングの取組の広報効果の測定や、市民・事業者の意識変化に関するアンケート調査を実施。

令和2年度 地方公共団体による食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業

①秋田県秋田市

秋田市では、家庭系食品ロス削減を目的とした**啓発パンフレット・動画の作成・効果測定**事業、ならびに事業系食品ロス削減を目的とした**食品関連事業者向けガイドライン作成**事業を実施した。

事業の概要

事業名	【家庭系】秋田市家庭系食品ロス削減モニター事業	【事業系】食品関連事業者の食品ロス削減のためのガイドライン作成事業
実施内容	<ul style="list-style-type: none">家庭向け啓発資材（「まるごと食べきり野菜活用ハンドブック」および食品ロス削減レシピ動画）を作成食品ロスダイアリー調査を実施し、啓発資材の配布世帯および非配布世帯における食品ロス排出実態および調査前後の意識・行動変化を比較分析	<ul style="list-style-type: none">食品ロス削減の取組の意義や先進事例等を取りまとめたガイドラインを作成し、市内の食品関連事業者に配布ガイドラインの作成前・配布後に、市内の食品関連事業者向けにアンケート等を実施し、情報発信を希望する内容、今後の取り組み意向等について確認
実施費用	1,835千円（パンフレット・動画作成費、調査謝礼、郵送費等）	139千円（ガイドライン作成費）
効果検証の方法	<ul style="list-style-type: none">食品ロスダイアリー調査、アンケート調査<ul style="list-style-type: none">3週間実施、124世帯が回答啓発資材の配布世帯／非配布世帯の結果を比較	<ul style="list-style-type: none">市内食品関連事業者向けのアンケート・聞き取り調査<ul style="list-style-type: none">ガイドラインの作成前・配布後の計2回実施いずれも19事業者が回答
連携先	（なし）	<ul style="list-style-type: none">一般社団法人フードバンクあきた、特定非営利活動法人たすけあいネットあゆむ（フードバンク活動団体）株式会社ナチュラルエナジージャパン（バイオガス発電事業者）秋田協同清掃株式会社（堆肥化事業者）

令和2年度 地方公共団体による食品ロス削減・食品リサイクル推進モデル事業

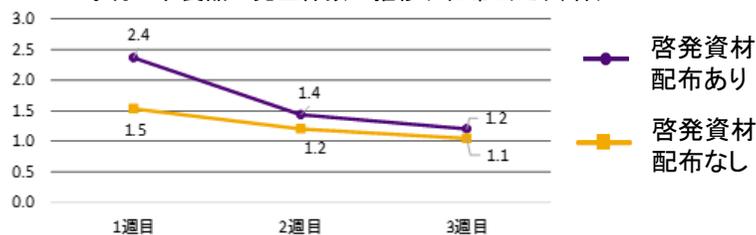
①秋田県秋田市

【家庭系】 秋田市家庭系食品ロス削減モニター事業

事業の効果

- 啓発資材の配布の有無に関わらず発生件数は減少⇒ **食品ロスダイアリー(発生実態の記録)の啓発効果**を確認
- 啓発資材を配布した群のほうが、発生件数の減少幅が大きい ⇒ **啓発資材の一定の啓発効果**を確認
- 啓発資材で紹介した取組の高い継続意向
 - パンフレット記載の野菜の保存と整理を44.3%が、レシピ動画の使い切り料理を17.1%が今後も続けたいと回答

手付かず食品の発生件数の推移(1世帯当たり、件)



事業の課題・展望

- 啓発資材の活用
 - ハンドブックをイベントや講座等で積極的に活用
 - 食べきりレシピ動画は、より効果的な発信方法を検討(例: イベントでの活用、小売店舗でのPR等)
- 食品ロスダイアリー調査に関する検討
 - 調査への参加による啓発効果が得られることを踏まえ、より効果的な実施方法を検討
 - 意識・行動変化を調査終了後も継続させる方法を検討

【事業系】食品関連事業者の 食品ロス削減のためのガイドライン作成事業

- ガイドラインによる食品ロス削減の動機付け
 - すべての事業者が「食品ロスを削減する意義」(例: 市内の食品ロス発生量)、「食品ロスを削減するメリット」(例: ごみ処理費用の削減、社会貢献等)に関する記載を読んで、「**食品ロス削減の動機づけとなった**」と回答
- 食品ロス削減の取組の促進
 - フードバンクへ食品の寄附が可能かを尋ねたところ、小売事業者3社(10社中)、外食事業者8社(9社中)が「今後取組が可能」と回答以下の回答を得た
 - その他、納品期限の緩和、食材を無駄なく使い切った調理等、各種取組に関する一定の取組意向を確認

- 以下の課題の解決に向けた研究、ガイドラインの修正を実施
 - 納品期限の緩和の促進
 - 自己責任を前提とした食べ残しの持ち帰り対応の促進
 - 外食事業者による食品リサイクルの取組の促進
- 商工会議所等の団体を通じてガイドラインを周知

②東京都三鷹市

三鷹市では、家庭系食品ロスの発生実態や市民の食品ロス削減に関する意識・行動、食品ロスを把握・削減するための支援ツール(アプリ等)に対するニーズに関するアンケート調査を行い、**市民が効率的に食品ロスを削減するための方策を検討した。**

事業の概要

事業名 市民が家庭で効率的に食品ロスを把握・削減するための方策・支援ツールの調査

実施内容

- (1)三鷹市在住者に対する市民アンケート調査の実施
 - ✓ 市内スーパーマーケット9店舗に調査票を設置し郵送で回収
 - ✓ 2021年1月7日(木)～2021年1月25日(月)投函締切
 - ✓ 調査項目
 - ・ 自身の家庭の食品ロス削減の重要性、食品ロス削減に対する取組意欲
 - ・ 最近1ヶ月の間に飲食しきれずまたは使い切れずに廃棄した経験のある食品
 - ・ 食品ロス削減のために現在行っていること、今後行いたいこと
 - ・ 家庭の食品ロスを削減するのに効果的だと考えるアプリ・サービス
 - ・ 食品ロス削減への意欲を高める情報の種類 等
- (2)食品ロス削減支援ツールの具体的イメージの検討



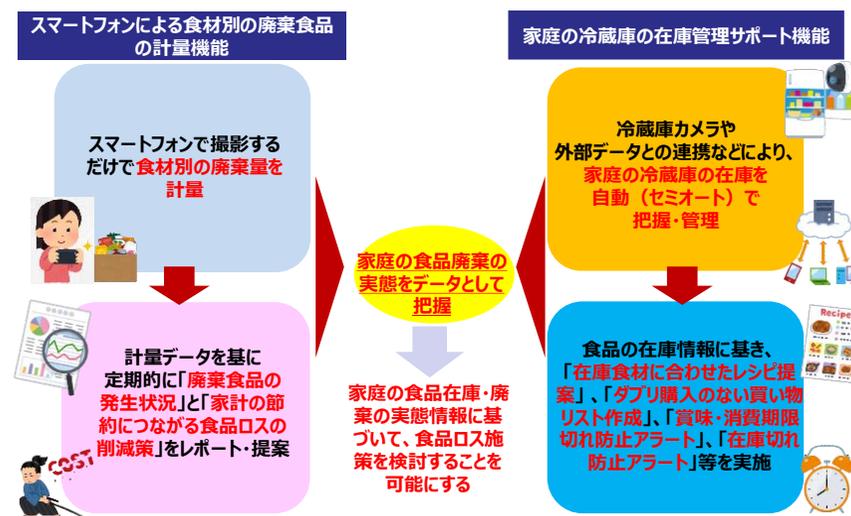
実施費用 1,972千円(アンケート調査費、調査研究員人件費)

連携先 ● 公益財団法人流通経済研究所

②東京都三鷹市

事業の結果

- (1) 三鷹市在住者に対する市民アンケート調査の実施(有効回答数199件)
 - ✓ 市民は、食品ロス削減のための行動を概ね行っていると認識しているが、「野菜・果物類」「調味料」「菓子類」「豆腐・納豆・練物」の廃棄が多い。
 - ✓ 市民が考える食品ロス削減のポイントは「家庭での食品の管理」「余った食品の活用方法」「買い物の事前の計画」「食品の保存方法」。特に、「家にある食材に合わせてレシピを提案してくれる」「冷蔵庫の整理・在庫管理を手軽に行うことができるようになる」情報提供サービス(アプリ等)に対するニーズが高い。
 - ✓ 削減意欲が高まる情報は、「食品ロス削減につながる買い物のヒント」(84%)「食品ロスの多さを知らせる写真」(83%)「多くの家庭が食品ロス削減に取り組んでいることを示す情報」(82%)「家庭の食品ロスの経済的費用のフィードバック」(76%) ⇒ナッジの活用が有効か。
- (2) 食品ロス削減支援ツールの具体的イメージの検討
 - ✓ アンケート結果と廃棄された食品の入力・管理の省力化・自動化等に資する技術動向を踏まえ、スマートフォンによる食材別の廃棄食品の計量機能、家庭の冷蔵庫の在庫管理サポート機能について検討。



事業の展望

- 「在庫食材に合わせたレシピ提案」や「冷蔵庫の整理・在庫」アプリの費用対効果、利用率の高いソリューションのあり方を検討
- 市民の行動変容を促すための情報提供や啓発の方策等について検討

③長野県松本市

松本市では、**新しい生活様式における食品ロス削減施策**の検討の一環として、フードシェアリングサービス事業者(株式会社クラダシ)と連携し、**フードシェアリングの取組の広報効果の測定や、市民・事業者の意識変化の検証(および事業系食品ロスの基礎調査)**を目的としたアンケート調査を実施した。

事業の概要

事業名	松本市におけるフードシェアリングサービス導入の効果検証
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● (1)食品ロス、フードシェアリングに関する市民向けアンケート ● (2)食品ロス、フードシェアリングに関する市内食品関連事業者向けアンケート ● (3)フードシェアリングサービスの広報手段の比較検証(チラシ、新聞、ラジオ、Web) ● (4)売上金の一部寄附による市内フードバンク団体への支援 ● (5)イベントによる周知(オンラインラボ開催、松本山雅ホームゲームへの出展)
実施費用	1,789千円(広報資材作成費・広告費、アンケート調査費、イベント業務委託費、講師謝礼等)
効果検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査(市内のKURADASHI会員、イベント参加者、市内食品関連事業者を対象) ● 市内のクラダシ会員登録者数、広告からのサイト流入数・登録者数(広報効果) ● 市内フードバンク団体への寄付金額(KURADASHI利用者が購入金額の一部の寄附先に市内団体を選択)
連携先	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社クラダシ、認定NPO法人フードバンク信州 ● 株式会社松本山雅FC

▼ 広報チラシイメージ



③長野県松本市

事業の効果

- (1)食品ロス、フードシェアリングに関する市民向けアンケート
 - ✓ 松本市内のKURADASHI会員へのアンケート(n=194)の結果、**食品ロスの削減に向けて「買い物で気を付ける」と回答した人が、フードシェアリングの利用を通じて増加した。**(普段取組んでいる:77%、今後取組みたい:85%)
 - ✓ 「クラダシとの連携が食品ロス削減に取り組むきっかけとなった」との回答が多数(89%)
 - ✓ 松本山雅ホームゲーム来場者へのアンケート(n=257)の結果、フードシェアリングを今後使ってみたい理由として、「安く商品を購入できるから」よりも「食品ロス削減等、社会貢献に繋がるから」の回答率が高かった。(それぞれ43%、67%)
- (2)食品ロス、フードシェアリングに関する市内食品関連事業者向けアンケート
 - ✓ 市内食品関連事業者へのアンケート(n=29)の結果、62%が「食品ロスが発生している」と回答、**「販売期限が短くなったことによる廃棄」が67%**と最も多かった。フードシェアリングサービスについて、「知らなかった」との回答が66%であった。
 - ✓ 「今後利用したい」(n=12)理由として、「社会貢献活動、SDGs達成に向けた活動の一環」との回答が多数(67%)
 - ✓ 「利用したいと思わない」(n=36)理由として、**「提供できる食品ロスがない」が72%、「社内規定等で出品が難しい」が19%。**
- (3)フードシェアリングサービスの広報手段の比較検証(チラシ、新聞、ラジオ、Web)
 - ✓ 事業期間内に**399人の新規登録者**(松本市民)。広報紙や市SNS、Web広告を通じて、取組を知った市民が多かった。
- (4)売上金の一部寄附による市内フードバンク団体への支援
 - ✓ 事業期間内で**35,103円の寄付**がされた(35世帯の困窮家庭へ食品の送付が可能となる相当額)。

事業の課題

- 食品関連事業者への周知、登録・出品の促進、企業側のハードルの緩和(社内規定等で出品が難しい等)
- 広報費の費用負担

事業の展望

- 株式会社クラダシとの継続的な連携によるフードシェアリングサービスの展開
- 利用者(市民)の意識変化を継続させる取組
- 食品関連事業者への継続的な周知、食品関連事業者から発生する食品ロスの把握